



福島医発第2405号（地）

平成27年12月10日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

（公 印 省 略）

百日せき、ジフテリア、破傷風および急性灰白髄炎（ポリオ）4種混合ワクチン
『スクエアキッズ®皮下注シリンジ』の発売について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、『スクエアキッズ®皮下注シリンジ』（製造販売元：北里第一三共ワクチン株式会社）につきましては、昨年7月4日に薬事承認され、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎及び破傷風の定期の予防接種として、他の4種混合ワクチンと同様に使用できるとしておりましたが、今般、第一三共株式会社、ジャパンワクチン株式会社及びサノフィ株式会社により、平成27年12月9日より発売することについて別添のとおりプレスリリースがなされましたので情報提供いたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

予防接種担当理事 田中泰之
会長 廣瀬真恵



2015 年 11 月 24 日

各 位

第一三共株式会社
ジャパンワクチン株式会社
サノフィ株式会社

**百日せき、ジフテリア、破傷風および急性灰白髄炎（ポリオ）を予防する
4 種混合ワクチン『スクエアキッズ®皮下注シリンジ』新発売のお知らせ**

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中山 譲治、以下「第一三共」）、
ジャパンワクチン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石切山 俊博、以下
「ジャパンワクチン」）、およびサノフィ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：
ファブリス・バスキエラ、以下「サノフィKK」）は、百日せき、ジフテリア、破傷風及び
急性灰白髄炎（ポリオ）を予防する4種混合ワクチン『スクエアキッズ®皮下注シリンジ』
（以下「スクエアキッズ®」）を、2015年12月9日より新発売しますのでお知らせします。

スクエアキッズ®は、第一三共のグループ会社である北里第一三共ワクチン株式会社（本
社：埼玉県北本市、代表取締役社長：荻田 健、以下「北里第一三共ワクチン」）の沈降精
製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン（DPTワクチン）とサノフィKKの不活化ポリオワ
クチン（ソークワクチン）をプレフィルドシリンジに充填した製剤で、日本で初めてソー
ク株を用いて製造された不活化ポリオワクチンを含む、4種混合ワクチンです。

第一三共グループとジャパンワクチン、サノフィ・グループのワクチン事業部門である
サノフィパスツールは、今後も医療ニーズに合致したワクチンを通じて、日本の公衆衛生
の向上ならびに予防医療環境の充実と普及に努め、人々の健康を守ることに貢献してまい
ります。

以 上



製品概要

販売名	スクエアキッズ®皮下注シリンジ
一般名	沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ（ソークワクチン） 混合ワクチン
製剤の規制区分	生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）
規格・含量	本剤は 0.5mL 中に、百日せき菌の防御抗原を 4 単位以上、ジフテリアトキシノイドを 15Lf 以下（14 国際単位以上）、破傷風トキシノイドを 2.5Lf 以下（9 国際単位以上）、不活化ポリオウイルス 1 型、2 型及び 3 型をそれぞれ 40DU、8DU 及び 32DU に相当する量を含む
効能・効果	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
用法・用量	初回免疫：小児に通常、1 回 0.5mL ずつを 3 回、いずれも 3 週間以上の間隔で皮下に注射する 追加免疫：小児に通常、初回免疫後 6 か月以上の間隔をおいて、0.5mL を 1 回皮下に注射する
製造販売承認日	2014 年 7 月 4 日
製造販売元	北里第一三共ワクチン株式会社
販売元	第一三共株式会社
販売提携	ジャパンワクチン株式会社 サノフィ株式会社

本件に関するお問い合わせ先
第一三共株式会社 コーポレートコミュニケーション部 報道関係者の皆様 TEL：03-6225-1126 株式市場関係者の皆様 TEL：03-6225-1125
ジャパンワクチン株式会社 コーポレートアフェアーズ部門 TEL：03-5213-2713 ウェブサイト： http://japanvaccine.co.jp/
サノフィ株式会社 コミュニケーション部 TEL：03-6301-4148 ウェブサイト： http://www.sanofipasteur.jp/



第一三共グループについて

第一三共グループは、「革新的な医薬品を継続的に創出し、多様な医療ニーズに応える医薬品を提供することで、世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する」ことを企業理念に掲げております。

世界中で多くの患者さんに服用いただいている高血圧症、脂質異常症、感染症領域の薬剤に続き、血栓症領域でも新薬を上市し、次代のフランチャイズとして育成します。さらには研究の重点領域を、「がん」、「循環代謝」、「先端領域」と定め、バイオ医薬品を含めた新薬創出に向けて取り組みを強化しております。

また、第一三共グループは、患者さん、医療関係者等の皆さまの多様なニーズに対応するべく、イノベティブ医薬品（新薬）に加え、ジェネリック医薬品、ワクチン、OTC医薬品の事業を展開しております。

詳細については、www.daiichisankyo.co.jpをご覧ください。

ジャパンワクチン株式会社について

ジャパンワクチンは2012年7月2日、グラクソ・スミスクライン株式会社と第一三共株式会社の折半出資の下、事業活動を開始しました。社会ニーズに応える感染症予防ワクチンに特化した企業として、「様々なステークホルダーと力をあわせて、疾病予防の確立に貢献する」ことをミッションとしています。

詳細については、<http://japanvaccine.co.jp/>をご覧ください。

サノフィについて

サノフィ・グループは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。パリ（EURONEXT：SAN）およびニューヨーク（NYSE：SNY）に上場しています。日本においては、約2,650人の社員が、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」をビジョンに、医薬品等の開発・製造・販売を行っています。詳細は、<http://www.sanofi.co.jp>をご参照ください。

サノフィパスツールについて

サノフィパスツールはサノフィ・グループのワクチン事業部門で、毎年10億回接種分以上のワクチンを提供し、世界中で5億人以上の人々に対してワクチンの接種を可能にしています。ワクチン業界における世界的リーダーとして、サノフィパスツールは、20種類もの感染症から人々を守る、世界で最も幅広いワクチンの製品ラインアップを提供しています。「命を守るワクチンを創る」という会社の伝統は、一世紀以上の歴史を有しています。



サノフィパスツールはワクチンに特化したメーカーとして世界最大級の企業であり、日々、研究開発に 100 万ユーロ以上を投資しています。詳細は、www.sanofipasteur.com または www.sanofipasteur.us をご参照ください。